

株式会社エンプラス

2011年3月期 決算説明会

2011年4月28日
取締役兼常務執行役員
酒井 崇

2011年3月期 経営基本方針

1. 感謝されるサービス・価値の提供
2. グローバル事業の基盤強化
3. エンプラスDNAの確認と醸成

2011年3月期に実施した主な施策



- 営業本部と技術本部を統合し事業本部に再編
- Enplas Hy-cad Electronic(Shanghai)Co.,Ltd.の完全子会社化→負ののれんの発生100百万円
→社名変更 Enplas Electronics(Shanghai)Co.,Ltd.
- 不採算事業（大型導光板、A I S事業）からの撤退→事業再構築費用24百万円
- 基幹システムの全拠点展開を完了
- 日本金型工業厚生年金基金からの脱退
→脱退一時金453百万円

3



2011年3月期 決算概要(連結)

損益実績



(単位: 億円)

	2011年3月期 実績	2010年3月期 実績	増減
売上高	209.8	182.2	15.2%
原価率	63.0%	65.8%	△2.8pt
営業利益	13.2	6.8	94.0%
経常利益	12.4	6.5	89.7%
当期純利益	3.0	2.5	19.3%
包括利益	△2.8	3.7	△6.5億円
1株当り当期純利益	20.00円	16.62円	3.38円
1株当り配当金	15.00円	12.50円	2.50円

3

セグメント別実績



(単位: 億円)

	2011年3月期 実績	2010年3月期 実績	増減
エンプラ事業	119.9	104.9	14.3%
原価率	67.2%	—	—
営業利益	6.4	—	—
半導体機器事業	49.2	34.9	41.2%
原価率	58.1%	—	—
営業利益	6.1	—	—
オプト事業	40.5	42.3	△4.1%
原価率	56.8%	—	—
営業利益	0.5	—	—
売上合計	209.8	182.2	15.2%

6

2011年3月期 決算総括



- エンプラ事業及び半導体機器事業の大幅増収（29.3億円）
- AIS事業・大型導光板事業の撤退及びOPU事業の生産調整があったもののOFC事業及びLED関連事業の大幅増収によりオプト事業は微減収（1.8億円）
- 上期売上高：下期売上高
＝113.3：96.4（億円）
- 原価率の更なる改善（△2.8pt）

7

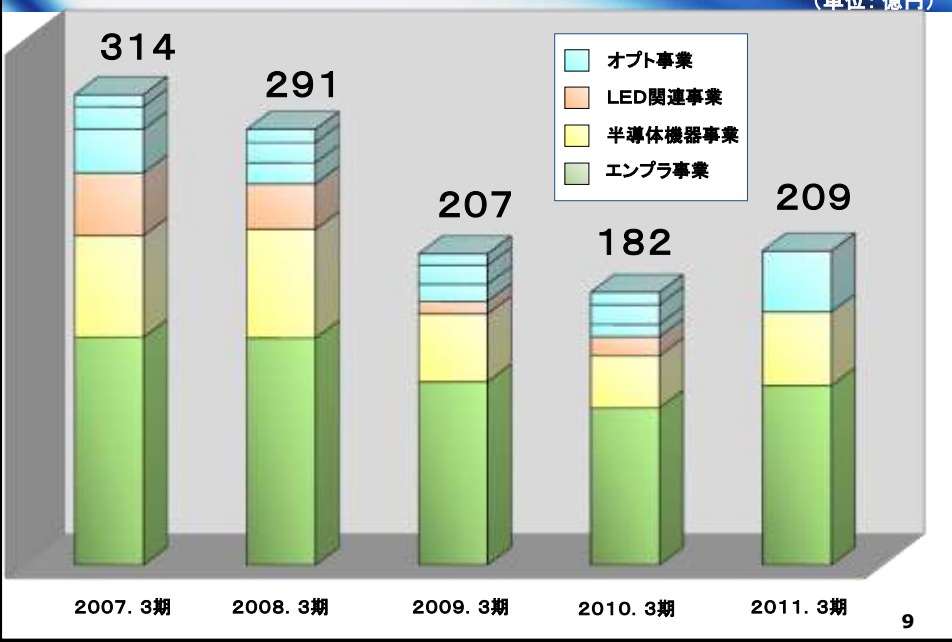
2011年3月期 決算総括



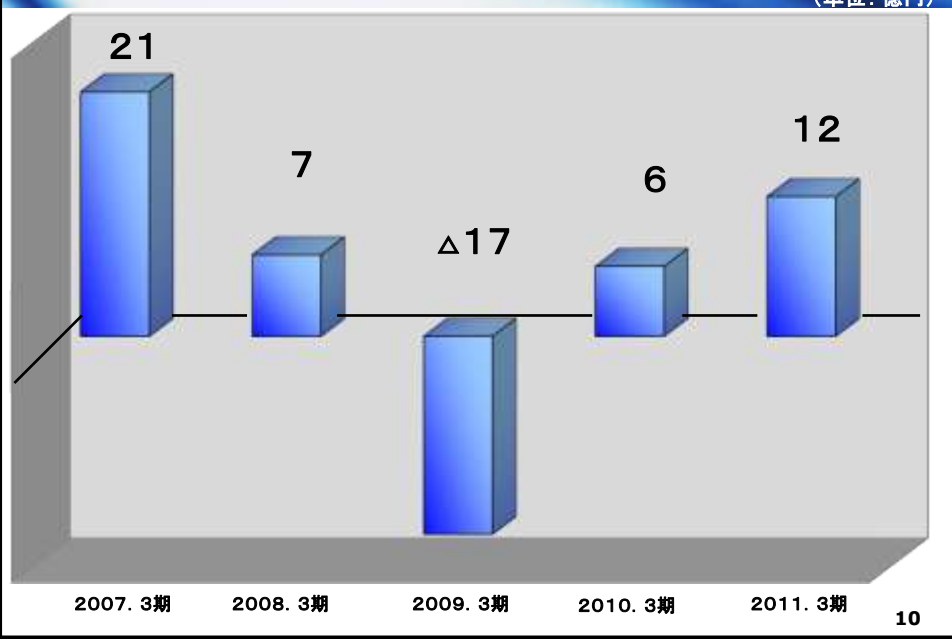
- 売上増加、基幹システムのグローバル展開及び人事制度の変更により販管費の増加（8.8億円）
- 為替差損の発生（198百万円）
- キャッシュ・フロー残高の増加（829百万円）
- 包括利益（△282百万円）
 - 有価証券評価差額金 △128百万円
 - 為替換算調整勘定 △483百万円

8

売上高推移



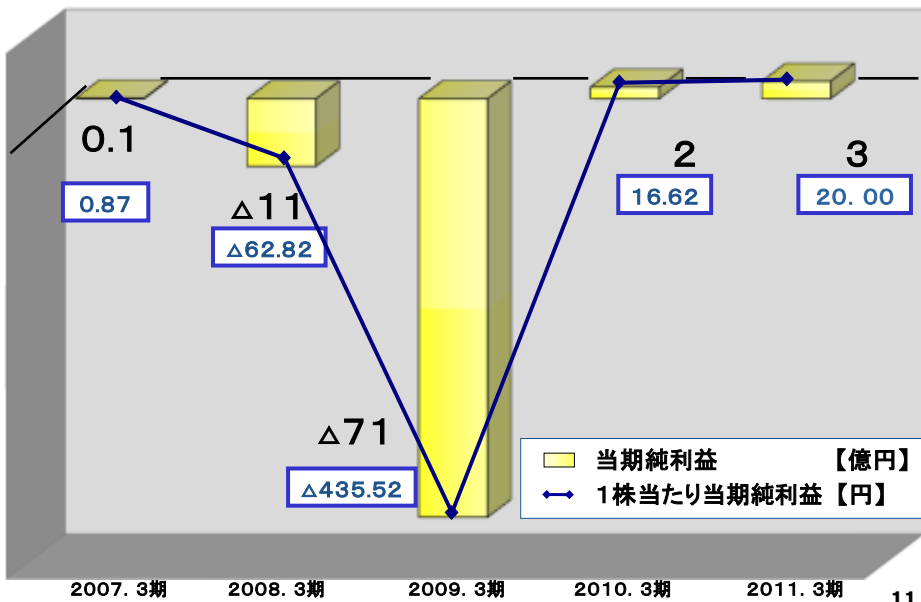
経常利益推移



当期純利益推移



(単位: 億円)

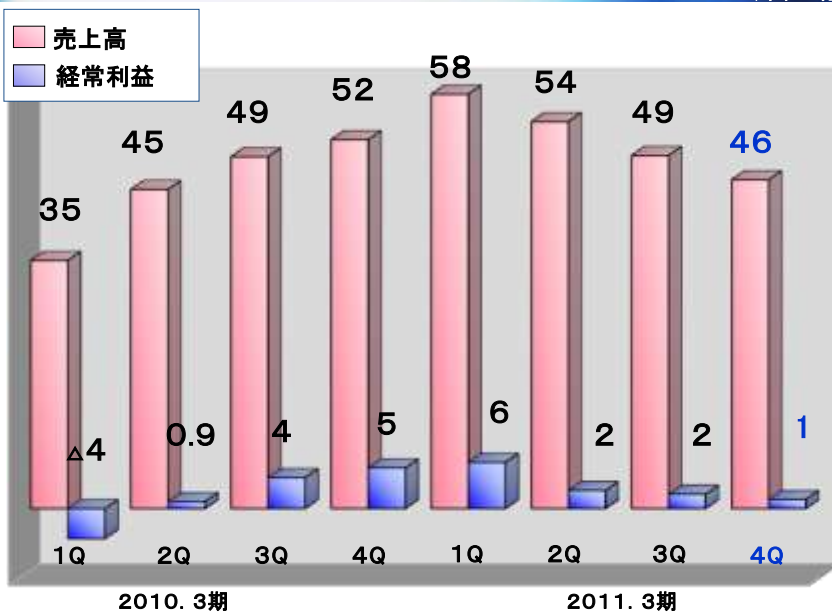


11

参考 - 売上高・経常利益実績推移 -



(単位: 億円)

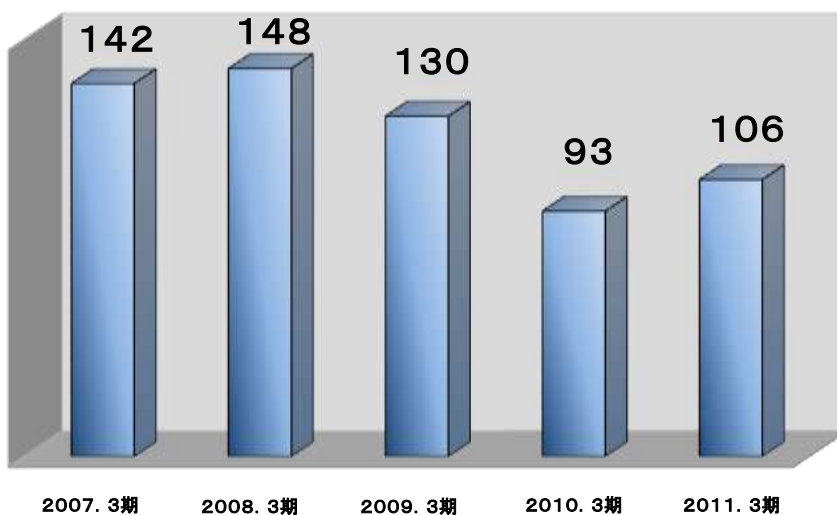


12

参考 - 固定費推移 -



(単位: 億円)

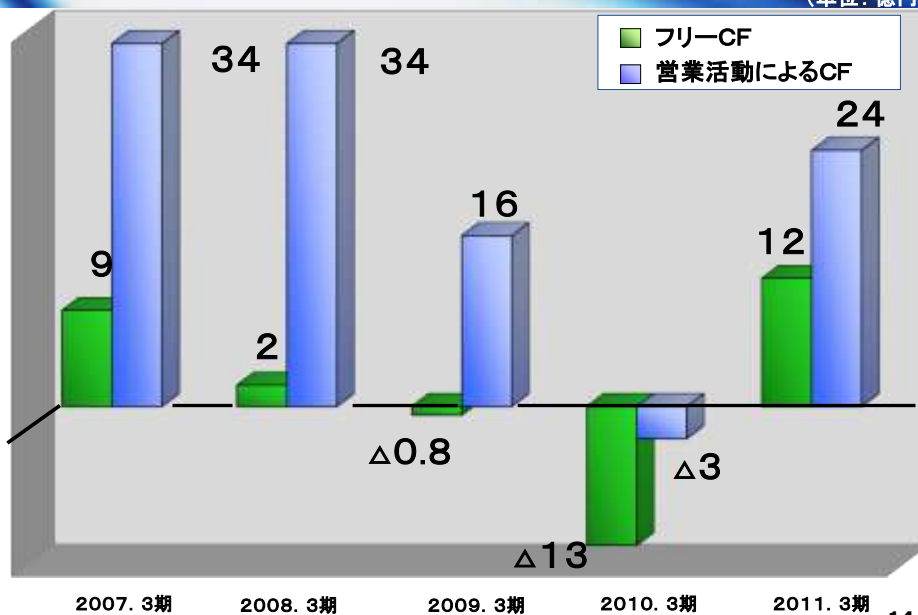


13

参考 - キャッシュフロー推移 -

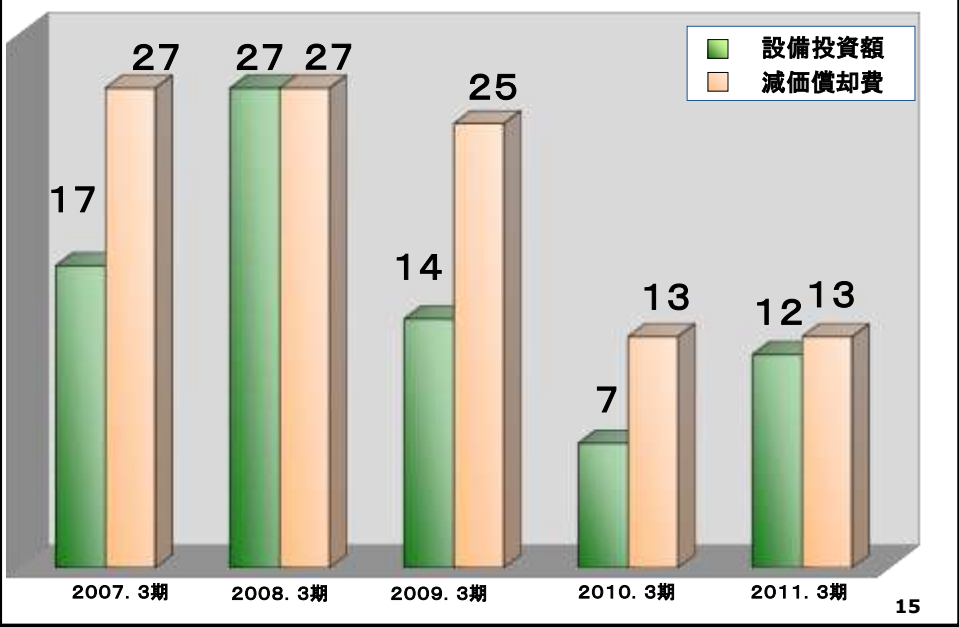
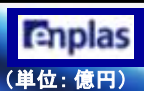


(単位: 億円)



14

参考 - 設備投資額と減価償却費 -



2012年3月期
通期(連結)

- 新興国市場の更なる成長
 - ◆ 中国、アジア地域を含めた新興国市場への経営資源の更なる投入→成長市場の特定と戦略強化
 - ◆ グローバル・アカウント・マネジメントの推進・強化
 - ◆ 生産・経営管理システムの高度化
- 成長市場からのコスト・スピード圧力
 - ◆ 競争力強化分野の明確化
 - ◆ グローバル品質保証体制の高度化

- 環境に対する意識の高まり
 - ◆ LED関連製品への更なる注力
- 東日本大震災の発生
 - ◆ 人的被害なく、物的被害は前期決算に折込み
(災害損失引当金29百万円)
 - ◆ 海外・国内事業体制の再構築
 - ◆ (株)エンプラス精機の清算 (減損損失等71百万円)
PT. Enplas Indonesiaの設立
Enplas Electronics(Shanghai)Co.,Ltd.の拡張
 - ◆ 需要変化への機敏な対応
 - ◆ 固定費の適正化

1. 圧倒的な競争力による事業成長
2. 3N(技術・市場・用途)戦略による新事業創出

各セグメントの事業戦略

エンプラ事業



(単位: 億円)

2009年3月期
売上実績

2010年3月期
売上実績

2011年3月期
売上実績

2012年3月期
売上計画

122.4 104.9 119.9 —

- OA事業・AU事業における中国・アジア地域での受注活動強化
- 二輪関連事業の強化・拡大
- 国内生産統合 → 生産標準化の推進
- 金型製造原価の低減とグローバル・リードタイムの短縮

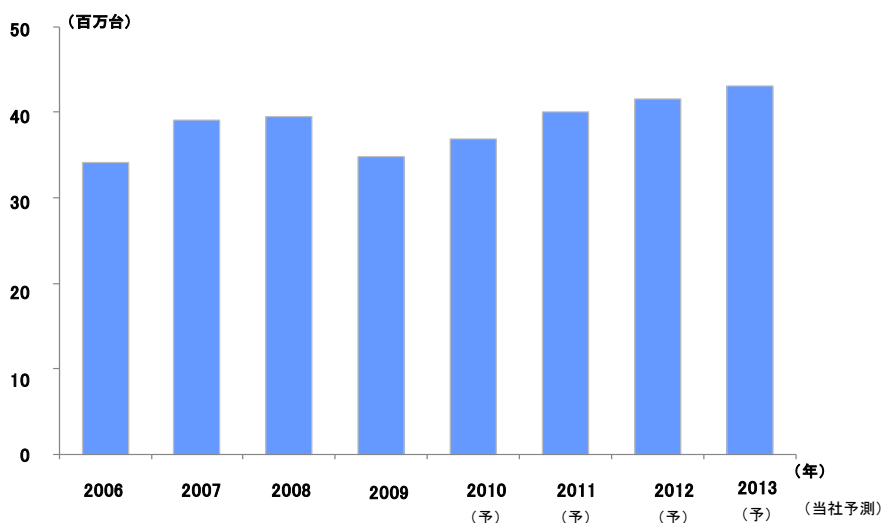


21

エンプラ事業



光学式プリンター市場予測



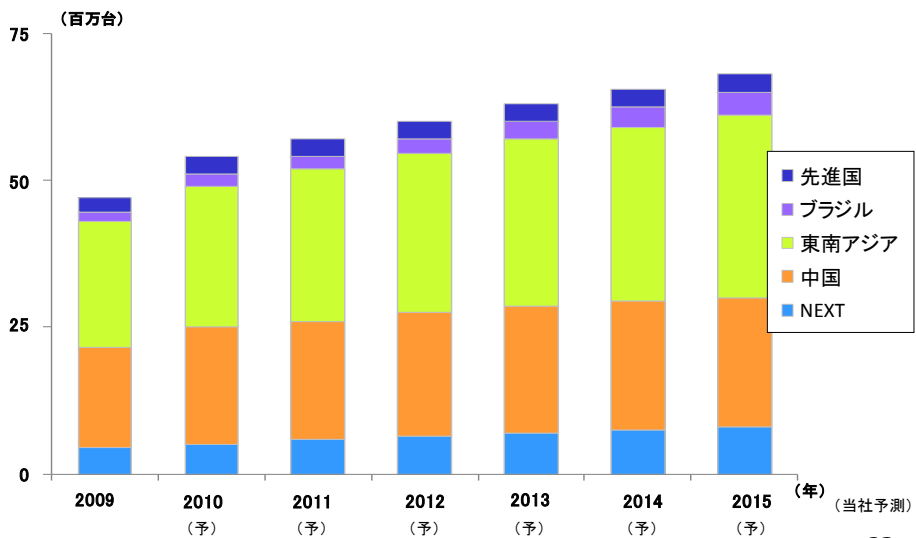
(当社予測)

22

エンプラ事業



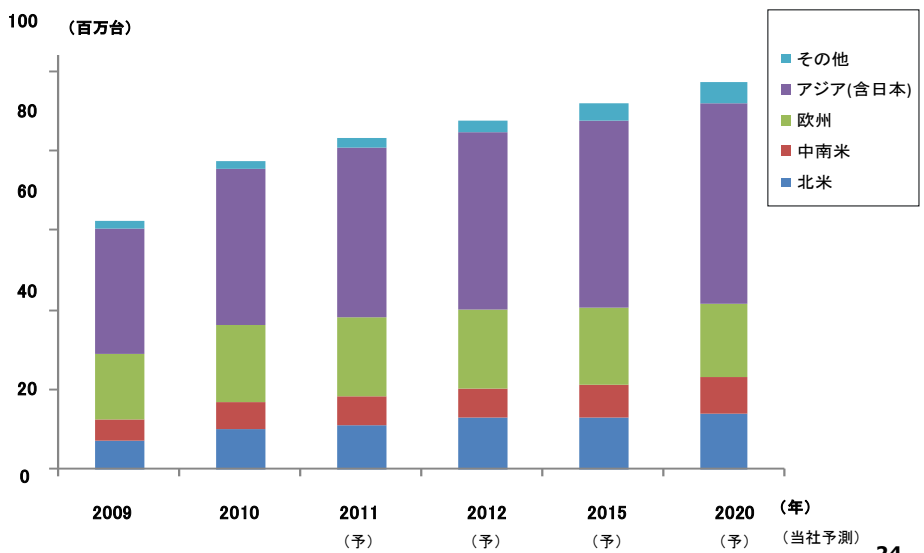
二輪自動車市場予測



エンプラ事業



地域別自動車市場予測



半導体機器事業の動向



(単位: 億円)

2009年3月期
売上実績

2010年3月期
売上実績

2011年3月期
売上実績

2012年3月期
売上計画

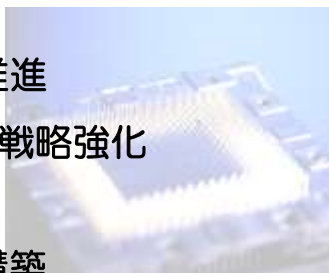
45.4

34.9

49.2

—

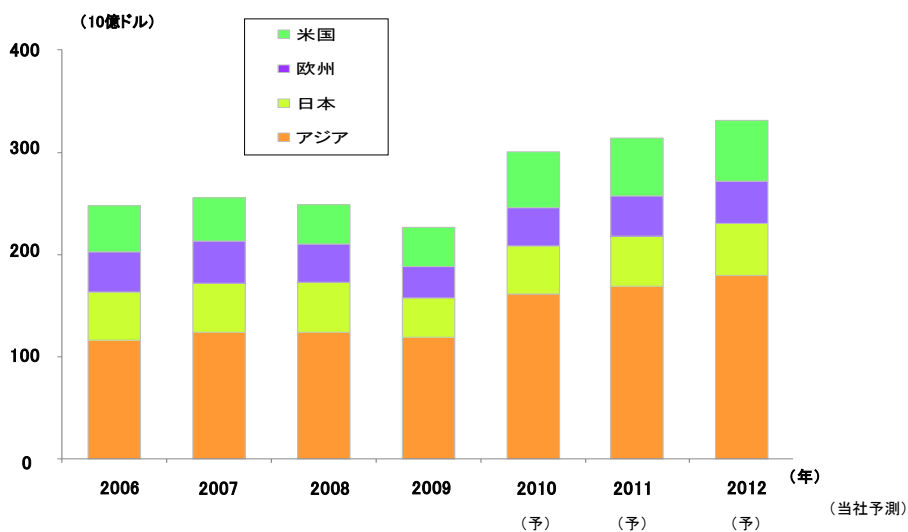
- 顧客に密着したグローバル・サポート体制の推進
- ◆ 急速に拡大する中国市場への戦略強化
- QCD+S+Dを実現した生産体制の構築
- 技術・製品開発の差別化による圧倒的シェアの確保



半導体機器事業の動向



地域別半導体市場予測



オプト事業の動向



(単位: 億円)

2009年3月期
売上実績

2010年3月期
売上実績

2011年3月期
売上実績

2012年3月期
売上計画

40.0

42.3

40.5

—

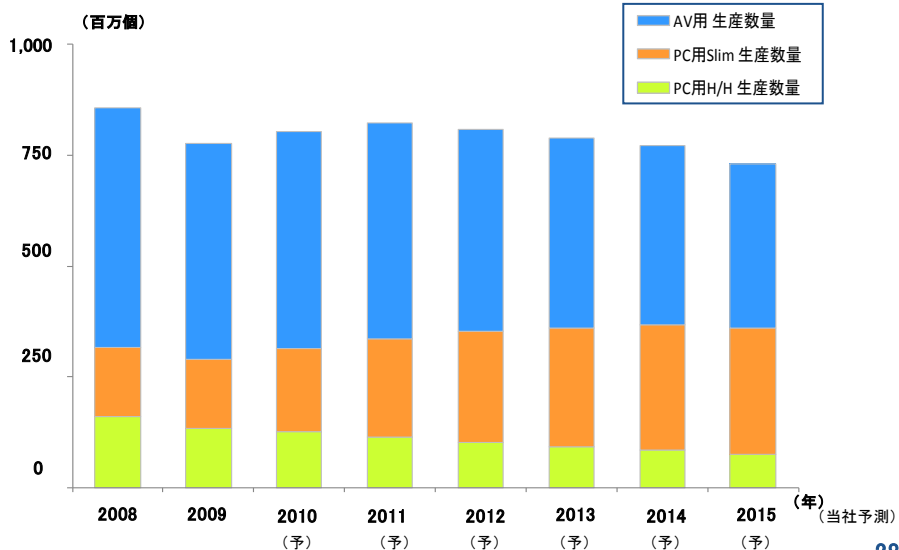
- OPU：市場シェアアップによる圧倒的な競争力確保
 - OFC：製品性能と技術提案力による差別化の推進
- LED関連
- TV用：海外顧客の開拓による市場創生
次世代製品による販売拡大
 - 照明用：照明関連製品の事業化
(環境ニーズの高まり)

27

オプト事業の動向 -OPU-



ピックアップ市場予測

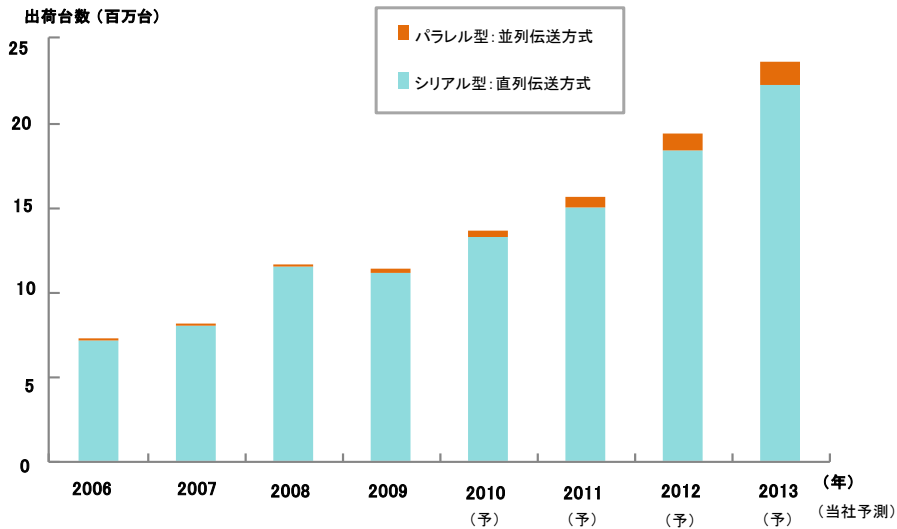


28

オプト事業の動向 -OFC-



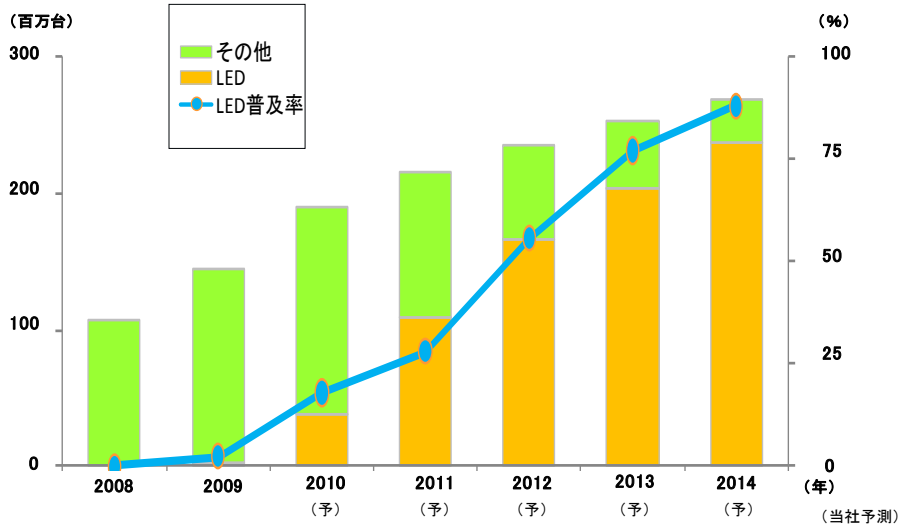
光トランシーバ市場予測



オプト事業の動向 -LED-



LED光源液晶TVの需要予測



新製品 -LED-



LED光源テレビ用レンズ（広拡散タイプ）

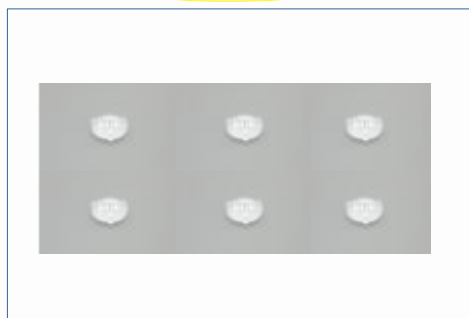
従来レンズに比べ30%広く拡散

画期的に少ないLED灯数で
照度分布を均一にすることができる



コスト、消費電力を大幅に
削減することが期待

バックライトの大きさ、
LED光源数、配置など、
フレキシブルに対応することも可能



31

ご清聴ありがとうございました。

株式会社エンプラス